

コウチュウ目 ハンミョウ科

イカリモンハンミョウ

Cicindela anchoralis Chevrolat, 1845

●摘要

日本を北限の分布地とする南方系の種。国内の分布は点的で、種子島、鹿児島県本土部、石川県の3ヶ所が既知の産地である。砂丘につながる海浜という生息環境は、護岸堤防の構築やドライブウェイなどの観光開発によって改変され圧迫を受けて、どこでも絶滅的状况にある。マニアによる採集圧も見逃せない。

●形態

背面は銅褐～銅緑色で、体下面は緑色に光り、肢のほとんどは緑色。上唇は黄白色で突出し、前縁に3歯をそなえるが、中央歯は尖り両側のそれは鈍い。頬に剛毛がなく、前胸背板前縁には剛毛を列生する。体長12～15mm。日本およびその近隣地域には近似種がなく、上翅の白紋は側縁から中央に伸び湾曲して縦紋となりイカリ(碇)状となるので、他種から容易に区別できる。

●分布の概要

インドシナ半島から中国南部、台湾を経て、日本まで分布している南方系の種。国内では種子島、鹿児島県本土部、石川県に局所的に分布している。日本産は亜種 (*O. a. punctissima*) とされる場合がある。

●生物学的特性

成虫は波打ち際の濡れた砂地を好んで飛来する。幼虫は砂に孔を掘って生活し、入り口付近を通過する小動物を捕食している。

●分布域とその動向

石川県では1980年代初頭に絶滅したと思われたが、2000年代に入って再発見の報告がなされた。

●生息地の現況とその動向

細砂からなる広いなだらかな砂浜で、後背地が海岸植物の生育する砂丘につながるものが好ましい条件といえるが、海岸線の大幅な改変によって、ほとんどの生息地で環境圧を受けている。

●存続を脅かしている原因とその時代的变化

近年における観光開発とそれにとまう海岸線における護岸堤防構築やドライブウェイの建設(14)によって生存が脅かされるようになった。近年ではマニアによる採集圧(41)が非常に大きく、憂慮される。

●特記事項

特定の3地域だけに限られた隔離分布をしている。その要因の解明は不十分であるが、生物地理学的に南方要素の日本への進出と北限分布としての意義は大きく、きわめて貴重な種である。

●保護対策

とくになし。



イカリモンハンミョウ(CR+EN)

Cicindela anchoralis

出典：改定・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 5 昆虫類(環境省、2006年)

St.1 の状況

- ・環境の状況：当該砂浜周辺には、環境省などの指定による絶滅危惧種（類）のイカリモンハンミョウが生息しており、保護のために砂浜に車止めが設置されている。この車止めのくいを St.1 と St.2 の境界とした。砂浜は広く、砂ガニの穴も目立つ。
- ・ゴミの状況：広い砂浜に、大量のゴミが漂着している。大型のものもある。
- ・コドラートの位置：砂浜は広く 4 個のコドラートを設置した。貴重生物に与える影響を少なくするために、なるべく南側に設置した。
- ・ゴミ回収の難易性：重機の搬入が困難であると思われ、主として人力で対応することと、ゴミの量が大量なので、作業の難易性は高い。



イカリモンハンミョウの案内板
(車両立入禁止)

砂ガニの死骸



スナガニの巣穴

コドラート設定地点から北側の状況



コドラート設定地点を含む南側の状況

コドラート設定地点

St.2 の状況

- ・環境の状況：平坦な砂浜が連続しており、既に観光用の車両が通行している。
- ・ゴミの状況：やや広い砂浜に、ゴミが漂着している。
- ・コドラートの位置：中央部に3個のコドラートを設置した。
- ・ゴミ回収の難易性：重機を入れての作業ができるので、作業の難易性は低い。



コドラート設定地点から南側の状況

海側の状況



陸側の状況

コドラート設定地点

St.3 の状況

- ・環境の状況：St.2 と同様に、平坦な砂浜が連続しており、既に観光用の車両が通行している。
- ・ゴミの状況：やや広い砂浜に、ゴミが漂着している。一部に砂浜に砂ごと集められている箇所もある。
- ・コドラートの位置：中央部に3個のコドラートを設置した。
- ・ゴミ回収の難易性：重機を入れての作業ができるので、作業の難易性は低い。



南側（滝海岸方向）の状況

北側（長手島方向）の状況



集められたゴミ

コドラート設定地点

St.4 の状況

- ・環境の状況：北端にはテトラポッドが設置されているが、その南側は平坦な砂浜が連続しており、既に観光用の車両が通行している。
- ・ゴミの状況：やや広い砂浜に、ゴミが漂着している。
- ・コドラートの位置：砂浜はやや広く、4個のコドラートを設置した。
- ・ゴミ回収の難易性：重機を入れての作業ができるので、作業の難易性は低い。



北端のテトラポッド周辺



北側（滝海岸方向）の状況：
ゴミの少ない場所



南側の状況：ゴミの多い場所



その北側（滝海岸方向）の状況



陸側の崖地の状況



コドラート設定地点

St.5 の状況

- ・環境の状況：北側の大部分の地域では、平坦な砂浜が連続しており、既に観光用の車両が通行している。砂浜の東側に崖状の段差があり、この断面にゴミが見られる。南側端部には羽咋川河口部があり、河川起源のゴミの漂着が見られる。
- ・ゴミの状況：北側の地域のやや広い砂浜に、ゴミが漂着している。南端部のゴミは大量かつ大型を含む。また、崖状の段差のゴミも目立つ。
- ・コドラートの位置：砂浜は広く3個のコドラートを設置した。
- ・ゴミ回収の難易性：重機を入れての作業ができるので、作業はしやすいと思われるが、南側の河口周辺でのゴミの量が多いため、作業の難易性はやや高い。



中央部から南側の状況



中央部から北側の状況



中央部の海側の状況



コドラート設定地点



南側の河口周辺（海側方向）：
ゴミの多い場所



南側の河口周辺（北側方向）：
ゴミの多い場所

St.6・7の状況

- ・環境の状況：サイクリングロードからのアプローチとなり、コンクリート製の車止めが設置されている。岩場にゴミが漂着しており、岩場へのアプローチは、草の繁茂、段差、長い斜面でのアプローチなど、困難を極める。
- ・ゴミの状況：岩場のゴミの一部は岩の間にも入り込んでいる。また、流木や冷蔵庫など、大型のゴミもある。
- ・ゴミ回収の難易性：重機を入れての作業ができず、人力による回収と運搬作業となる。また、足場も悪いので、作業の難易性は高い。



サイクリングロードと車止め



St.6・7の境界としたV字形のマツ



St.6のゴミの状況



海岸の磯場（岩場）の状況



St.6の比較的広い場所



St.7の比較的広い場所